四季の営農
ワンポイント
アドバイス
【園芸指導】

鉢植えのシンビジウムを楽しもう！

【指導員】　園芸課　渡部　寿寛

シンビジウムは管理次第で2～3か月は鑑賞することができ、寿命が長く冬の観賞花として人気があります。今回は、鉢での管理のポイントについてお知らせします。

温度管理

比較的寒さには強いので、長く楽しむためには昼間20℃以上にせず、温風も直接あてないことが重要です。夜間は5℃ぐらいの温度が望ましいですが、凍結しない程度の温度を確保しましょう。

水管理

過度の水やりは必要ありませんが、3週間に1度程度、土に水気が感じられなくなったら、底の穴から水が染み出るくらいたっぷり与えてあげましょう。できれば、室温と同じくらいの温度の水を与えることを心がけましょう。

肥料

冬期はほとんど肥料を必要としませんが、極端な肥料切れをさせないために、長効きタイプの固形の肥料かナタネ油粕等を少量置き肥しましょう。化成肥料や液肥による肥料の効かせすぎは、花痛みの原因となるので控えましょう。

病害虫予防

- 葉枯れ病：葉の先端から枯れ込んで、淡褐色となり、黒褐色の小斑点ができ拡大していく病気です。
- 炭疽病：葉に発生します。発生初期は黒褐色の小斑点が現れ、しだいに広がっていく病気です。

【共通する予防のポイント】

- 枯れ葉や病葉は見つけ次第取り除く
- 極端な肥料不足を避ける
- 高温多湿を避け、適度な換気を行う
- 冬期間は凍害に注意する

葉枯れ病：主に先端から病徴が現れる

炭疽病：病斑の周囲が黒褐色となるのが特徴

【お知らせ】

今年も12月23(土)～24日(日)にかけて「シンビジウム展示即売会」を行います。詳しい日程は、P18・インフォメーションに記載しておりますのでお気に入りのひと鉢を探しに、是非ご来場ください。

◇　◆　◇

お問い合わせ
園芸課　0182-23-6578